

「セーフティネットの設計 システムのアプローチ」

経済産業研究所 所長
スタンフォード大学教授
青木昌彦

セーフティネットの定義

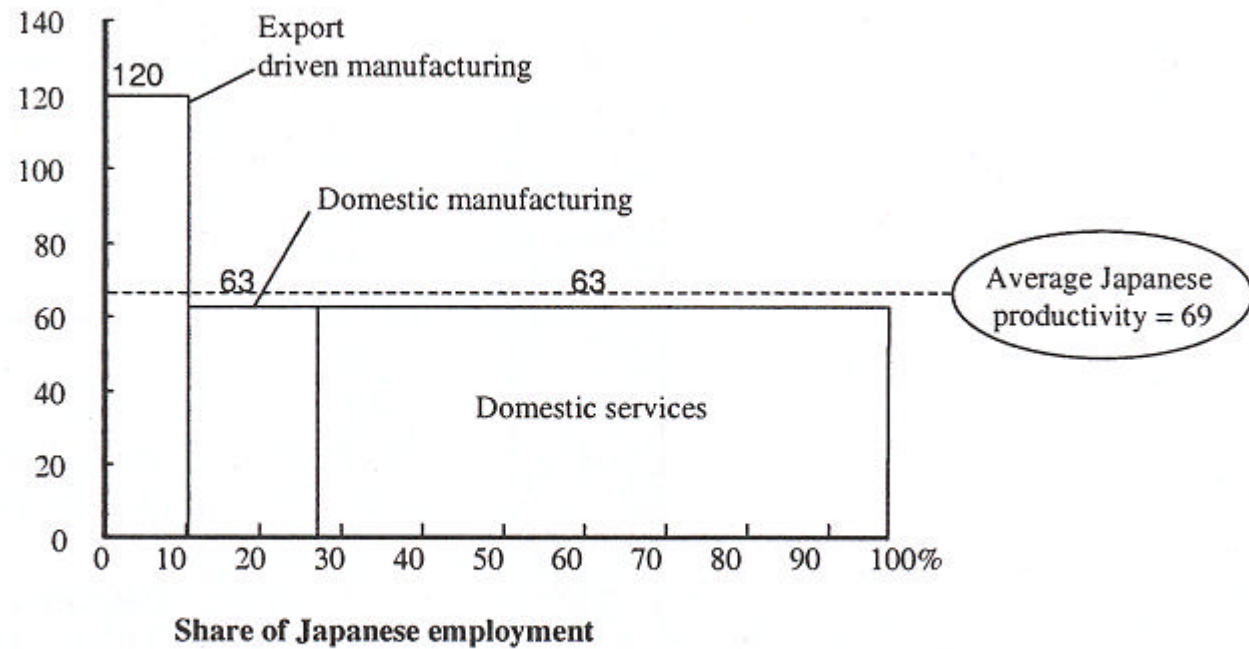
失業、疾病、高齢など、個人のコントロールできない諸要因に起因する所得低下のリスクが、ある一定水準以上に墜ち込まないようにする社会的装置

現行セーフティネットの問題点 (1)

- ✦ 高生産部門と低生産部門の併存
- ✦ 高生産部門からの所得移転による低生産部門の所得・雇用保障
- ✦ 「仕切られた多元主義のディレンマ」
(財政赤字、生産基地の海外移転)

Japan's Dual Economy

Labor productivity index



* Index: United States = 100 in 1999

Source: OECD; O'Mahoney, Britain's Productivity Performance 1950-1996: an international perspective; McKinsey analysis

現行セーフティネットの問題点 (2)

- ✦ 被用者世帯主による家計維持という従来モデルと人口構成・ライフスタイルの多様化 (高齢化、少子化、単身世帯、共稼ぎ世帯の増加など)とのあいだのミスマッチ
- ✦ 公的資金運用における政府の失敗(資金原資の目減り、個人のモラルハザード)

代替肢：

低生産性部門から高生産性部門への人的資源再配分と、政府の失敗・市場の失敗の可能性を考慮に入れたセーフティネット

セーフティネット設計の基本視点

- ✦ 人的流動性を支えるセーフティネットという立場から企業福祉主義を転換する。ベネフィットを企業間にポータブルとする。
- ✦ ライフスタイルの変化と政府の失敗という現状をふまえ、公的なシビルミニマムの保障の上に個人勘定を積み上げるという二層システムへの転換。
- ✦ 政策は人々に対するインセンティブ効果を通じて、その結果を現わす。単に、公的費用負担をどうファイナンスするかという視点では不十分。
- ✦ 流動性・効率性を互いに補強しあうような老後保障・健保・失業対策などのシステムの設計 = 制度的補完性

具体的問題提起

- ✦ 労働市場 :企業に対する雇用補助金vs職業紹介・カウンセリング・職業訓練などの市場機能仲介機関(intermediary)の育成と規制緩和
- ✦ 年金 :公的部分の資金運用・金融は？(株式、公債、税？)
どのように個人勘定部分を運用するか
- ✦ 医療・健康・介護 :どのような制度が、産業としての医療健康部門の効率性を高めるか(保険審査機構・混合診療の規制緩和など)

これらのドメインにおける政策設計の間には如何なる補完性(効率性相互促進機能)があるか

公的部門と市場のあいだの中間組織(保険者エージェント、就職仲介、職業教育など)や保険・福祉・医療などの統合サービスの成長が、生産的雇用を増大させる。

The END

